

# しべちゃ 議会 だより



— TPP反対で釧路市北大通をデモ行進 —

第86号

平成24年8月1日発行

発行/標茶町議会  
編集/広報調査特別委員会  
電話/(015) 485-2111  
住所/標茶町川上4丁目2番地

## 6月第2回定例会 (6月14日・15日)

### 24年度補正予算可決

一般会計 2億8,518万8千円の追加  
国保事業勘定 545万4千円の減額

一般質問 **町政を問う** (3~6ページ) 4名6件の質問

### 意見書 (6,7ページ)

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書など7件

### 第2回臨時会 (2,3ページ)

農業用機械の取得、条例改正2件

# 第二回 定例会

## 二十四年度 補正予算

### ■ 一般会計 2億 8,518 万8千円の追加

(主な内容)

- ・ 国民健康保険事業事業勘定特別会計繰出金 5,000 万円
- ・ 保育園備品整備 2,670 万円
- ・ ふるさと農道緊急整備事業 1,300 万円
- ・ 商工団体補助金 200 万円
- ・ 標茶中茶安別線道路改良事業 4,976 万 4 千円
- ・ 標茶小学校外構整備 1,880 万円

### ■ 特別会計

- ・ 国民健康保険事業事業勘定 5,454 万円の減額



第2回定例会は6月14、15日に開催され、一般会計2億8,518万8千円を追加し特別会計と合わせて2億7,973万4千円の追加補正が提案され、議会はこれを原案どおり可決しました。

### 条例の改正

第2回定例会で町条例改正が提案され審議を経て可決されました。

外国人登録法が廃止され、外国住民が住民基本台帳法の適用対象となることから、条例の一部改正をするものです。

① 標茶町精神障害者医療費の助成に関する条例

② 標茶町災害弔慰金の支給等に関する条例

③ 標茶町印鑑条例

#### 条例以外

① 車両の取得について

平成5年導入の阿歴内線で利用しているバスの老朽化により、現車両を更新するものです。

「中型バス」(38人乗り) 1台

「取得価格」

1,993万4,221円

② 建設工事委託に関する協定について  
標茶町終末処理場の汚泥脱水機が、23年経過し更新の必要が生じたことから、更新工事を委託するものです。



ハーフクローラータイプトラクター

### 平成二十四年 第二回臨時会

(5月25日)

第2回臨時会では、報告第3号で、平成23年度の一般会計で5,527万3千円の減額補正が報告され、議会はこれを承認しました。

#### 議案第39号

#### 農業用機械の取得について

育成牧場でトラクター一台(ハーフクローラータイプ)を新規購入しました。

価格は、1,081万5千円でした。

平成二十四年 第二回臨時会

〔一条例改正〕

議案第40号

標茶町職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正

町立病院では、今まで、リハビリ関係で理学療法士2名体制でしたが、新たに作業療法士が採用されました。これによって、リハビリ体制が一層充実されました。

議案第41号

標茶町新規就農者誘致特別措置条例の一部を改正

従来、新規就農予定者受け入れ農業者に対して受け入れ指導費助成を行っていましたが、これを廃止し、代わって新規就農予定者に対し、1名につき1月当たり5万円以内の研究助成金の交付を行うものと改正されました。

一般質問

町政を問う

第二回定例会では、四名の議員が六件の一般質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

簡易郵便局が廃止とならない取り組みを

深見 迪 議員

町長 維持・向上が図られるよう対応していく

問 第180国会で4月27日、郵政民営化法が「改正」された。改正では保険や貯金を扱っていない簡易郵便局などは「郵便局」とはみなされなくなるということなどで、過疎地域での郵便局ネットワークの縮小につながるかねないと思われる。

本町には、郵便窓口のみの阿歴内簡易郵便局と郵便窓口と貯金業務を行っている上オソツベツ簡易郵便局があるが、地域の宝のような簡易郵便局を守りたい。

議会では意見書も提

出したが、郵便業務のユニバーサルサービスがこれ以上後退しないよう、町としても国に働きかけを行うべきと考えるがどうか。

答 郵便局は、国民にとって全国津々浦々に広がる地域住民のライフサービスとして、なくてはならない存在であり、どんな過疎地域等でも公平に提供されることが必要であると考えている。

採決では、「置局水準を現行法より後退させることのないよう必要な措置を講ずること」とした付帯決議がされているので、そのことが実行されるべきものと思っている。

地域住民にとって利便性の維持・向上が図られるよう、今後とも注視をしながら、対応していきたい。



—上オソツベツ簡易郵便局—

本多耕平  
議員

町道東国1線の改良工事を望む

町長 工事着手へ向けて準備を進めている

**問** 上茶安別住民、そして町道利用者の長期要望であった改良工事が進んでいるが、完成は何年くらいを計画しているのか。更に標茶中茶安別線に接続している町道東国1線の改良事業計画の是非を伺いたい。当地区の離農休農が相次ぎ、地区の農地を守っているのは地区外の農業者が多い。農繁期は特に大型機械の往来があり、危険箇所も数多く一日でも早い改良が望まれているが対応を聞く。

**答** 長年の地域要望を経て、標茶中

茶安別線は、防衛省所管補助事業の採択を受け、平成19年より実施設計、用地買収から事業着手をしている。平成21年度からは改良舗装工事と実施設計及び用地買収等を並行して進めている状況で、完了年次は平成35年である。改良舗装工事の進捗

は、平成23年度2カ年国債発注分で、全线路線延長12・8キロメートルのうち約28%に当たり、3・6キロメートルが完成あるいは工事中である。厳しい補助予算の中、全体計画延長が12・8キロメートルと長い路線の計画であり、全体延長を4期に分割して事業をスタートさせた。その後3期に変更し、1期工事を進めている。次に、町道東国1線の改良事業について、長年の地域要望であり、補助事業での実施を模索していたが、補助事業での採択は望めない。よって起債事業「ふるさと農道緊急整備事業」での平成25年度工事着手へ向けて準備を進めている。



—標茶中茶安別線工事—

**問** 現在、人口減少問題は喫緊の課題とされている。北海道をはじめとする各市町村のウェブサイトをみると、住環境やイベント・サポート態勢などアピールされており、積極性が見てとれる。

標茶町においてもワンストップ窓口が設置され随時対応をされている事と思う。北海道としてはシニア層をメインとした移住推進を図っているように見受けられるが、標茶町においては現役世代へのアピールも必要と考える。標茶町として事業を推進するにあたり、今後具体的にどのような方針で進めていくのか所見を伺う。

長尾式宮  
議員

効果的な移住推進事業を

町長 幅広い層の移住推進を考えている

また、地域の魅力を伝えるためには地元商工会・観光協会・農協等に協力を仰いでいるとは思いますが、連携が取れているのか伺う。

本町においては、幅広い層のターゲットと考えるが、就労の場も必要であり、企業誘致や地元産業の育成等の政策と並行して魅力発信を図っていく。

**答**

今回、地元経済団体や観光協会等と連携し「ちよつと暮らし・お試し暮らし」の予算を提案しており、積極的に推進していきたい。



—お試し住宅—

## 森林・林業の充実を

鈴木裕美  
議員

### 町長 国に強く要望

本町も平成24年4月から10年間の森林整備計画が策定された。本町の基幹産業である酪農業とのかかわりで、水源涵養機能の発揮や河川周辺の森林整備による河川の水質保全は重要である。また本町にはシマフクロウ等の希少動物が生息する地域があり、それぞれの特徴、機能に応じたきめ細い森林施策が必要と思うが、この整備計画策定にあたっての問題や課題について伺う。また計画を執行管理する人材や高性能機械のオペレーターの人



— 森林風景 —

**問** 森林・林業基本計画が平成23年7月に閣議決定された。計画では、これから森林整備の効率化・集約化の徹底、効率的な加工・流通体制の整備、木材利用の拡大等をし、森林の有する多面的機能の持続的な発揮、木材自給率を50%にすることを目標としている。

材確保、育成はどのようにするのか伺う。更に森林整備を進めるための安定財源確保はどう努力をするのか伺う。

**答** 箇所ごとに施業方法を設定する専門知識が必要であり関係機関の準フォレストスター並びに森林プランナーからの指導を受け、三回の森林整備推進会議を開催し計画を策定した。

人材育成については森林施業プラ

ンナーの認定取得を推進し、研修と実務両面から進めていく。

森林の持つ公益的機能を発揮させるために林業専用道の定額補助事業の長期継続など、必要な支援について国に強く要望していく。

## その他の一般質問

深見 迪 議員

### 介護保険料軽減を

**問** 本町は「介護保険料が高い自治体」(全道3番目)として、何回か報道がされている。

保険料の額のみを大きく取り上げる報道の仕方には疑問があるが、しかし、介護保険料の大幅値上げについての被保険者の暮らしへのきびしい影響もまた事実である。

一般会計からの繰り入れは、法的しびりがないと解釈されるが、繰り入れて保険料軽減をしてはどうか。

**答** 報道の内容については、保険料の引き上げだけが強調されており、サービス内容や要介護認定率などが取り上げられていないことは残念なことであると考えている。

本町の場合は、5,725円の基準額算定となっているが、要介護認定者が増加している等、町民の必要とするサービス利用量の確保を最重要に保険料を算定した。

これまでも政令で認められている範囲内での一般財源からの投入により軽減を図ってきたところである。それ以外のものについては認められないという解釈で対応してきた。



その他の一般質問

本多 耕平 議員

中央公民館分館の耐震改修実施計画の進捗状況は

**問** 標茶町耐震改修促進計画に基づき改修工事が着実に進んでいる事は理解しているが、今年度の改修実施計画と進捗状況はどの様になっているのか。また勤労者会館の利用状況と存続を検討したとき、所管する部署が異なっているが、施設の合理的利用、運用を考え、公民館分館との統合利用(施設合併)としてはどうか。

**答** 中央公民館分館の耐震改修進捗状況は、利用者に不都合のないよう、耐震改修に向けて、実施設計等を今年度中に終

わらせる予定である。

勤労者会館については、町内会関係、労働団体、健康体操、YOSAKOI、音楽団体、福祉団体、その他の利用で延べ人数5,027人が利用している。

中央公民館分館、勤労者会館の統合利用については、分館利用者からは、現状と同様の利用形態を望む意向となっており、勤労者会館については、現在、利用団体と協議中である。



—中央公民館分館— (サークル活動)

予算特別委員会

総括質疑

深見 迪 議員

● 新しい「放射線副読本」はどのように扱ったのか。  
● 北電フリースペースで国道街灯の間引きはあるのか。

館田 賢治 議員

● 交付税の歳入算定について。

● 二酸化炭素削減(地球温暖化)計画、実績、今後の対応は。  
● 国保会計への繰り出しの考え方を聞く。

● 常盤パークゴルフ場の管理について。  
● 本町基幹産業としての酪農対策について。

● 磯分内美幌地区の農業環境施設の充実について。  
● ゴミ焼却施設の将来計画を検討すべきだ。

● 職員を超過勤務実態について。

熊谷 善行 議員



—常盤パークゴルフ場—

● お試し住宅など移住促進政策の更なる充実を。  
● LEDの電球補助の範囲を茶の間などにも広げ効果ある政策を。

● LED電球



—LED電球—

意見書

意見書第5号

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

地球温暖化が深刻な環境問題になっている中で、森林は二酸化炭素の吸収源として大きな期待が寄せられています。意見書は、林業の安定的発展と山村の活性化、さらには東日本大震災の被災地復興を早期に図るため、木材の安定供給、道産材の利用促進などを求めたものです。

意見書第6号

再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書

一、投資促進減税、省エネ代替エネルギー減税などの拡充を実施し、再生可能工

エネルギーの導入を促進すること。

二、買取価格・期間の設定において、設定ルールを明確化し、長期的な将来の見通しを示し、制度の予見可能性を高めること。

三、再生可能エネルギー発電事業に係る規制改革を確実に実施するとともに進捗状況の管理のための独立機関等を設置すること。

意見書第7号

「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書

一、道路や橋梁、上下水道、河川道、港湾など、老朽化が進み更新時期が近づいている社会インフラを早急に点検・特定し、維持・更新のための公共投資を積極的かつ集中的に行うこと。

二、電気、ガス、水道、通信などのライフラインの共同溝化・無電柱化を促進し、

都市の防災機能の向上を図ること。

三、地域の安全・安心のために、学校等の公共施設や病院・介護等の社会福祉施設など地域の防災拠点の耐震化及び防災機能の強化を推進すること。

意見書第8号

地方財政の充実・強化を求める意見書

被災自治体に対する復興費の確保、少子・高齢化に対応した地方財政計画の策定、地方交付税の総額確保等の抜本的な対策を進める事などを求めたものです。

意見書第9号

けいれん性発声障害（SD）の研究・治療等の推進を求める意見書

実態調査の実施や家族に対する相談及び支援、医師の派遣など遠隔地でも受け

られる環境を整備することなどを求めたものです。

意見書第10号

郵政民営化によるユニバーサル（全国一律）サービス維持を求める意見書

これまでどおり地域の郵便局ネットワークが維持され、過疎地にある簡易郵便局が存続されることを求めたものです。

意見書第11号

年金削減政策を中止し、さらなる充実を求める意見書

年金削減政策の中止、無年金、低年金の解決、年金受給資格期間の短縮、「マクロ経済スライド」の発動をやめることなどを求めたものです。

以上の意見書が、国の関係機関に送付されました。

平成24年度  
北海道町村議会議員研修会  
に参加

道町村議長会主催の全道の議員研修会が、7月3日札幌で行われました。これに標茶町の議員も参加しました。  
今年の講演はつぎの二つでした。

・「議会改革の展望と課題」  
講師 牛山久仁彦氏  
(明治大学教授)

・『「世界の中の日本・アジアの中の日本」～日本の外交戦略を探る～』  
講師 手嶋 龍一氏  
(外交ジャーナリスト・作家・慶應義塾大学教授)

牛山氏は、「分権社会における自治体のあり方」について、東日本大震災や少子高齢化などの例を出し、

役場や議会のあり方について話しました。特に、町村議会の優位性として道、県議会や国会と違って、住民に最も近い議会なので、議員の地域における役割が今求められていることを強調しました。

手嶋氏は、日本の核武装は全くあり得ないと持論を展開し、さらに、地球温暖化で新たな北極海航路が可能となり、また、石油、天然ガス等の資源も北の海に豊富にあり、21世紀の流通革命が起きることを示唆しました。



一議員研修会 牛山氏講演一

## 第二回定例会 議会公口誌から

三月十三日	広報調査特別委員会
三月二十六日	釧路公立大学事務組合議会
四月四日	広報調査特別委員会
四月五日	広報調査特別委員会
四月十一日	広報調査特別委員会
四月十六日	広報調査特別委員会
五月十五日	総務経済委員会
五月十八日	厚生文教委員会
五月二十四日	議会運営委員会
五月二十五日	第二回臨時会
六月一日	釧路北部消防事務組合議会
六月十一日	議会運営委員会
六月十一日	議会第八回学習会
六月十四日	全員協議会
六月十四日 ～十五日	第二回定例会



— 1,600人参加した釧路地区TPP反対集会（6月9日） —

## 編集後記

第2回定例会では四名、六件の一般質問、三名の総括質疑が行われ活発な議論が行われました。

一般会計と国保会計の二会計の補正が提案され原案可決しました。

国保会計に五千万円を繰り出し住民生活を守る内容も盛り込まれました。

さらに、暮らしに係わりのある七件の意見書を採択しました。

また、標茶町連合町内会をはじめ、延べ20名の方が傍聴に来て下さいました。

私たちが議会だより等を通して、町議会の活動をわかりやすくお伝えしていきたいと思えます。

（文責 田中 敏文）

標茶町議会アドレス <http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/yakuba/gikai/>